

第23号 市議会報告

習志野市議会議員
相原 かずゆき

<http://aihara1002.com/>

■発行日：平成29年1月28日



討議資料

こんにちは、相原です。新年を迎え、習志野市の市民生活の安心と安全を守ることは言うまでもありません。本年は、市議会において、市民の健康増進と教育の推進について様々な角度から発言して参りたいと考えております。

健康増進については、主に、特定健康診査の受診率の向上と合わせて、がん検診の受診率の向上に向けた、市民一人一人にきめ細やかなサービスの提供が構築できるよう提案して参ります。

教育の推進については、これまでの学校教育にとどまらず、ご家庭、地域が、一体となり本市の切れ目のない教育環境を構築できるよう提案して参ります。

上記の特色を出すためには、もちろん財源は必要になりますが、実現するためには職員だけではなく、市民一人一人の活躍が必要不可欠と言えます。

本年4月には、防災機能を備えた新庁舎も完成し、公共施設については、老朽化・長寿命化に向けた取り組みも進んでおります。習志野市の将来に向けた政策の歯車を皆様とともに連携し構築していきたいと思っております。

今後とも、輝く習志野をつくるために、ご指導、ご意見をお聞かせください。

最後に、皆様の健康をお祈り申し上げます。

相原 和幸

私の母校「習志野市立第三中学校」の創立50周年記念式典と記念祝賀会に平成28年11月12日(土)に参加しました。



歴代の校長先生たちと校歌を♪

耐震の問題で建物を解体し約3年間で建て替え、市民待望の習志野市子どもセンターが、平成29年1月5日(木)にリニューアルオープンしました。



閉鎖中の地域の協力に感謝です。

健康への取り組みが日本一の藤枝市へ念願の行政視察！本市の取り組みに生かします。



■所属会派

輝く習志野をつくる会

■所属委員会

○議会運営委員会 ○文教福祉常任委員会 ○農業委員会

■その他任意団体 議員団(団長)

プロフィール

●昭和46年10月 誕生 ●習志野市立鷺沼保育 ●習志野市立鷺沼小学校 ●習志野市立第三中学校 ●千葉県立船橋古和釜高等学校 ●東洋大学 経営学部 経営学科 卒業

●平成22年10月印刷会社 退職 ●平成23年4月習志野市議会議員(初当選) ●平成27年4月習志野市議会議員(2期目当選)

スポーツ・趣味

●剣道：地元「剣友会」で小学5年生まで ●書道：小学1年生から中学3年生まで ●バスケットボール：現在も地元で活動中 ●音楽鑑賞：ジャンルを問わず和太鼓演奏なども所属団体

●習志野市消防団 第三分団 ●習志野市青少年相談員 ●習志野ロータリークラブ

習志野市議会議員 相原和幸 連絡先 〒275-0014 習志野市鷺沼1-11-14 自宅Tel・Fax：047-453-2918

携帯電話：090-2478-7979 e-mail: aihara1002@outlook.jp ホームページ <http://aihara1002.com/>

(質 問) 習志野市の将来都市像について

生産年齢人口が減少し、医療費だけでも年間約3億円ずつ上昇を続けている社会保障費等に関する費用が増大していく中、現在実施している約600事業を将来的に、特に2025年の人口動態を想像すると事業を集約する必要にせまられることになると考える。そこで、少子高齢 人口減少社会に向けた総資産の形成をどのように考えているのか

(回 答)

本市は、平成25年に高齢化率が21パーセントを超え、超高齢社会へと突入した。人口推計では、今後も高齢者数の増加は続く予想している。加えて、年少人口の減少が続いているため、今後の人口構成は、さらに少子高齢化が進むと予想される。このことにより、今後社会保障関係費が増大する中でも、生産年齢人口の減少による税収減が見込まれる。一方では、少子高齢化が進むことによる人口構成の変化により、その時々において市民が必要とする施設のニーズは変化する。機能の転換や有効活用により、時代にあった適切な施設の配置を考えていく必要がある。

本市は、このような市政を取り巻く時代の流れを踏まえつつ、平成26年に「未来のために～みんながやさしさでつながるまち～習志野」を将来都市像とした基本構想を定めました。そして、この将来都市像の実現を支える重点プロジェクトとして、「公共施設の再生」「財政健全化」「協働型社会の構築」の3つを掲げた。私たち習志野市民は、先人が築いてきた資産を利用し続け、良質な生活環境を築いてきました。今度は、今に生きる私たちが時代の変化に対応した、より良い資産を将来に引き継いでいくことが重要であり、この重点プロジェクトに掲げた「公共施設の再生」は、老朽化が進む公共施設の適正な機能の確保、配置及び効率的な管理運営を実現し、次世代へつなげようとするものである。

本市では、このような考え方のもとに、現在、大久保地区公共施設再生事業をはじめとした公共施設の再生に取り組んでいるところであり、今後も、時代の変化に伴う公共施設の役割と住民ニーズとの整合を図りながら、複合化、多機能化、共用化による公共施設の総量圧縮に取り組んでいく。

(質 問) 防災・減災について

家具転倒防止施策についてどのように考えているのか

(回 答)

災害対策における減災の視点から、家具類の転倒や移動の防止対策は、非常に重要な備えの1つであると認識している。内閣府の報告書の数値によりますと、阪神・淡路大震災における死者の状況は、死因の約80%以上が木造家屋の倒壊による圧死であり、そのうち約10%は家具の転倒によるものと推定されている。また、負傷者につきましても、46%が家具の転倒によるものとされている。このように、大地震の際の被害の有無は、家の耐震化だけではなく、家具の固定の状況に大きく影響される。このことから、大地震では、家具は必ず倒れるもの、移動するものと考えて、家具の固定や、配置の見直しを行うなど、災害に備えた事前対策に取り組んでいただくよう、まちづくり出前講座や地域の防災訓練などの場で啓発をしている。

(要 望)家具転倒防止備品は自前で購入してもらい、特に高齢世帯への設置をサポートする仕組みを構築していただきたい。

◎第14回「議会報告会」開催のお知らせ◎

2017年

テーマ

3月12日(日) 「平成29年度の主な事業」

課題から提案までをわかりやすく解説!

開催時間 15:00～17:00

会場: 鷺沼集会所(根神社の下(社務所))

議会報告会を通じ、みんなの声を市政に届け、地域における諸問題を少しでも改善していきたいと考えております。是非この機会に、ご友人・知人の方をお誘い合わせの上、ご参加いただけますようご案内申し上げます。
★ご要望があれば、出張議会報告会も行います。お気軽に相原携帯までご連絡ください。

